



マインドフルネス総合研究所のホームページで地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームの会員として、パートナーシップのプログラムを公表し推進しています。

<http://mindfulness.jp/sdgs/mokuji-sdgs.htm>



Goal 8. 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

内面の成長のスキルをすべての人の SDGs の実現のために

マインドフルネス総合研究所で研究開発しているマインドフルネス SIMT(注1)は、広く深い心の観察、感情の反応のしかたのトレーニングを含むので、人が遂行するすべての営みに関係します。特に、17のゴールとの関係を述べます。

Goal 8. 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

ターゲット

- 8.5 2030 年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び**働きがいのある人間らしい仕事**、並びに同一労働同一賃金を達成する。
- 8.6 2020 年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
- 8.7 **強制労働を根絶し**、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025 年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。
- 8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や**不安定な雇用状態にある労働者**など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
- 8.9 2030 年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。

働きがいとは生きがいに通じます。働くだけではなくて、生きていく喜び、生きがいとは何か真剣に考えられた哲学を根拠にしたいものです。

蟹江憲史氏の、目標8についての説明にある通り、雇用、仕事のことであり、内面のことは無関係のように見える。しかし、仕事をするのは住民であるから「働きがい」「人間らしい」と思えることという内面がある。

「目標8のもう一つの重要な要素が、だれもが人間らしい仕事をする、という点である。……
「ディーセント・ワーク」とは働きがいのある人間らしい仕事のことであり、「働き方改革」やさまざまなハラスメントが社会的な問題としてクローズアップされるなかで、人間らしい仕事をするということは、日本において特に重要な課題となっている。」(p91)

そして、テレワーク、強制労働、労働環境、雇用環境などの言及がある。

「人間らしい仕事」「働きがい」ということは職業に貴賤なし、職業に関係なく個人の人格の尊重が基本になる。どの職業につく人であっても、幸福観を得られる地域である必要がある。

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4011>

★職場にエゴイズムで苦しめることがない環境
職業の大小高下ではない、差別心を起こさない。

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3329>

<http://mindfulness.jp/sdgs/20-03-allcommunity.pdf>

★至誠については、ここでも触れている。

過労からはうつ病の発症があり、ハラスメントは加害者のゆがんだ心の心が被害者を苦しめることを自覚できないために起きるので、職場における精神的な問題である。

◆-----◆
関連する哲学的または精神的な問題
◆-----◆

【人はみな人格的に平等という哲学】

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2734>

哲学者永井均氏は『西田幾多郎』(NHK 出版)において、人格の哲学が西田哲学にあるという。

「西田は、「私と汝」という論文で、少なくとも個人(あるいは「人物」とか訳される 英語でいう person の成立に関する限り、この問いに正面から答えたのみならず ことができる。そのことを通じてしか、個物——客観的個物——の成立について語ることはできないのである。」(p85-86)

女性や障害のあるひとを差別せず、ひとは、みな、人格的に平等であることを認めることが、職場において「働きがい」を感じるに違いない。

【生きがい、幸福に関連する哲学】

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4459>

★幸福の哲学

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4333>

★幸福の哲学

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3246>

★団体の中のすべての個人のいきがい

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2629>

★フランクフル、生きがい

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3738>

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2601>

★神谷美恵子

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2424>

★生きがい、自己実現

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2841>

★西田哲学の実践論、マインドフルネス SIMT は生活全般

Target 8. 6は、ひきこもりの解決支援にかかわるだろう。内面の心の成長という側面は、SIMT もお役に立てるだろう。

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4269>

☆色々なきっかけ

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2006>

☆30代

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4294>

☆中高年

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4273>

☆不登校

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4275>

☆不登校

★ひきこもり

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2860>

★男性のひきこもりに「こころの健康体操」

◆Goal 4

Goal 8は、Goal 4とも関連する。教育のなかに、生きがい、人生の価値に関する哲学とそれを実現する実践法を含めてはどうだろうか。また、職場におけるハラスメント防止のために、他者を傷つけて職場環境を悪化させるハラスメントに関する教育を行うことが望まれる。それを講義する講師も地元で育成する

(注)

SIMT は、自己洞察瞑想療法/自己洞察瞑想法である。Self Insight Meditation Therapy/Technology

参照: 大田健次郎(2013)『うつ・不安障害を治すマインドフルネス』佼成出版社

大田健次郎(2014)『不安、ストレスが消える心の鍛え方

——マインドフルネス入門』清流出版

ホームページでの紹介: [top](#) > マインドフルネス心理療法 SIMT とは

(注2) 「(Pxx)は、蟹江憲史(2020年)『SDGs(持続可能な開発目標)』のページを示す。